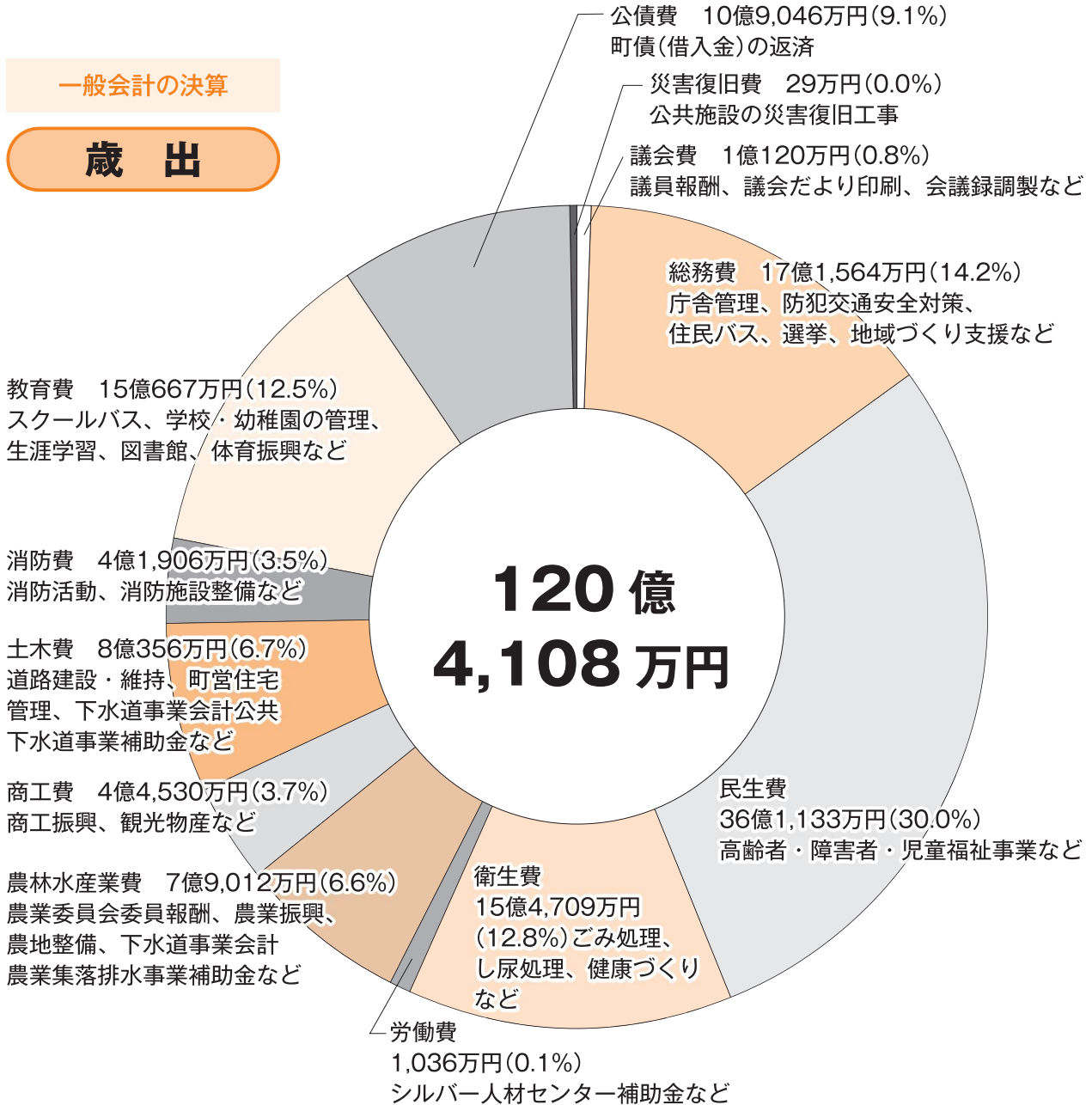


# 令和3年度 決算の概要

令和3年度の一般会計と各種特別会計の決算が、美里町議会9月会議において原案どおり承認されました。令和3年度の決算の概要についてお知らせします。



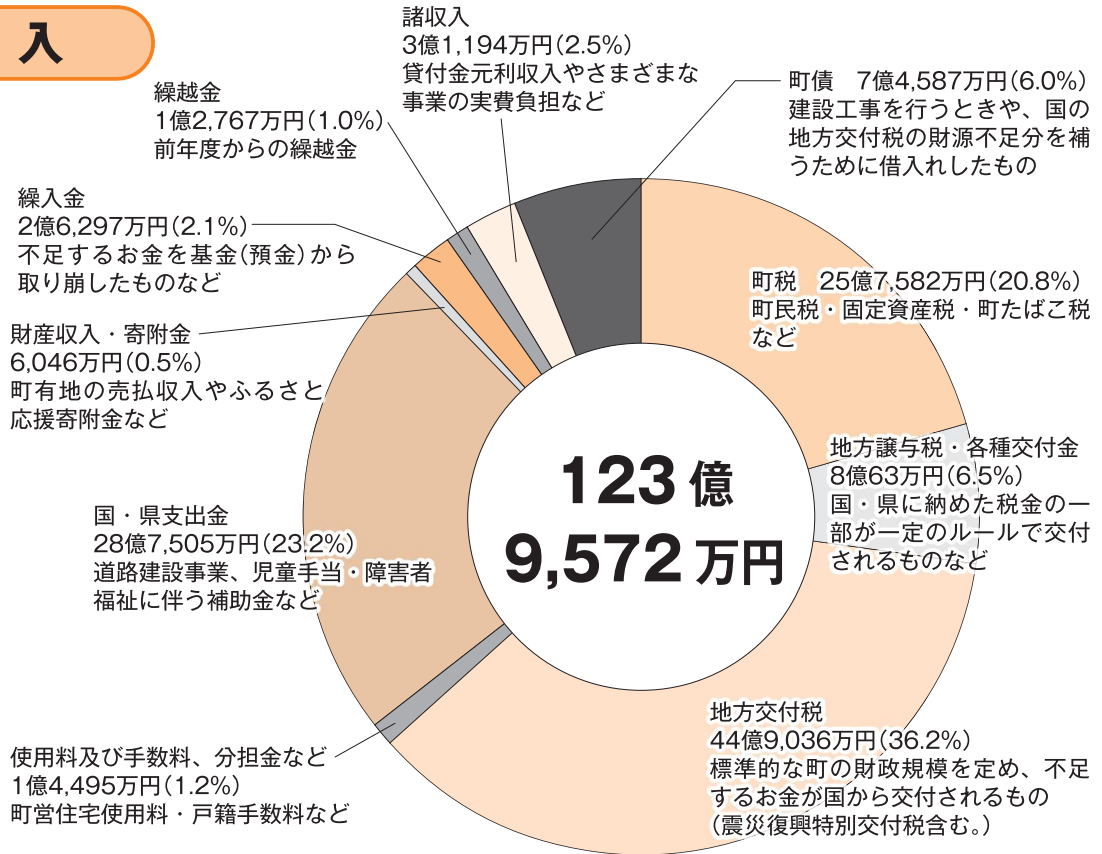
## 歳入歳出とも前年度より減少

令和3年度の一般会計の歳入決算額は123億9,572万円で、歳出決算額は120億4,108万円となりました。令和2年度に1人10万円を給付した特別定額給付金の影響が大きく、前年度と比較して歳入では23億386万円の減、歳出で24億2,582万円の減となりました。

## 南郷放課後児童クラブ施設や子育て支援の推進

令和3年度は、建設事業費で南郷放課後児童クラブ施設の建設工事を実施したほか、大崎地域広域行政事務組合の新中央クリーンセンターの整備に必要なお金を負担しました。また、働きながら子育てする家族を支援するため、民間の認可保育施設の整備費用を補助し、子どもの受入れ先を拡充することで待機児童の減少に努めました。

# 歳入



歳入のうち町税は25億7,582万円で、前年度と比較して587万円の微増となりました。地方交付税では、原油価格高騰対策や除排雪等の要因により、特別交付税が増加しています。

## 令和3年度決算の実質収支額

歳入123億9,572万円－歳出120億4,108万円－繰越財源2,350万円＝3億3,114万円

歳入から、歳出と繰越財源(次年度へ繰り越しすべき財源)を差し引いた実質収支額は、3億3,114万円となり、そのうち1億7,000万円は、後年度に備えて財政調整基金に積み立てました。

## 特別会計の決算

各特別会計の歳出決算額を前年度と比較すると、国民健康保険特別会計で0.1%の増、後期高齢者医療特別会計で2.8%の増、介護保険特別会計で3.7%の増となりました。

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	27億1,694万円	26億9,486万円	2,208万円
後期高齢者医療特別会計	3億594万円	3億500万円	94万円
介護保険特別会計	26億2,558万円	25億5,982万円	6,576万円

## 公営企業会計の決算

◇水道事業会計の決算状況

【収益的収支】 収入額 8億3,975万円(消費税等抜き7億6,715万円)  
 支出額 7億8,637万円(消費税等抜き7億2,327万円)  
 差引額 消費税等抜きで4,388万円の黒字

【資本的収支】 収入額 1億578万円  
 支出額 3億4,348万円  
 差引額 2億3,770万円の不足

差引不足額については、過年度分損益勘定留保資金、過年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、減債積立金で補てんしました。

◇病院事業会計の決算状況

【収益的収支】 収入額 7億6,884万円(消費税等抜き7億5,839万円)  
 支出額 7億1,640万円(消費税等抜き7億 649万円)  
 差引額 消費税等抜きで5,190万円の黒字  
 累積欠損金の額は、5億658万円となりました。

【資本的収支】 収入額 6,762万円  
 支出額 1億 988万円  
 差引額 4,226万円の不足  
 差引不足額については、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

◇下水道事業会計の決算状況

【収益的収支】 収入額 9億 6,099万円(消費税等抜き9億 690万円)  
 支出額 9億 172万円(消費税等抜き8億8,381万円)  
 差引額 消費税等抜きで2,309万円の黒字

【資本的収支】 収入額 12億2,432万円  
 支出額 13億3,940万円  
 差引額 1億1,508万円の不足  
 前年度同意済企業債2億2,820万円および翌年度へ繰り越される繰越工事資金6,418万円を除いた差引不足額4億746万円については、過年度分および当年度分の消費税および地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしましたが、なお不足する額については、令和3年度同意済企業債の未発行分で措置しました。

町債及び企業債の借入金・償還額・年度末残高

区 分	令和2年度末残高	令和3年度借入額	令和3年度元金償還額	令和3年度末残高
一般会計	108億4,292万円	7億3,369万円	10億4,609万円	105億3,052万円
水道事業会計	32億5,933万円	9,440万円	2億3,504万円	31億1,869万円
病院事業会計	3億4,457万円	500万円	1億 3万円	2億4,954万円
下水道事業会計	72億6,840万円	8億4,000万円	6億5,358万円	74億5,482万円
合 計	217億1,522万円	16億7,309万円	20億3,474万円	213億5,357万円

一般会計の令和3年度末の町債残高は、令和2年度末残高に比べて3億1,240万円の減額となり、105億3,052万円となりました。このうち、地方財源の不足に対応するために従来の交付税に代えて発行される臨時財政対策債の占める割合は44.1%となり、前年度と比べて0.4ポイント減少しています。町全体の町債および企業債残高は、前年度と比べて3億6,165万円の減額となりました。

基金の年度末残高・増減額

区 分	令和2年度末の現在高 (A)	令和3年度末の現在高 (B)	増減額 (B)-(A)
一般会計 財政調整基金	15億7,469万円	16億6,833万円	9,364万円
一般会計 減債基金	2億2,110万円	2億3,697万円	1,587万円
一般会計 その他の基金	15億4,874万円	18億1,180万円	2億6,306万円
国民健康保険特別会計 財政調整基金・出産費資金貸付事業基金	8億3,651万円	7億9,478万円	△4,173万円
介護保険特別会計 介護給付費準備基金	4億1,994万円	5億1,712万円	9,718万円
合 計	46億 98万円	50億2,900万円	4億2,802万円

国民健康保険特別会計の基金現在高は減額となりましたが、一般会計と介護保険特別会計の基金現在高は増額となり、基金全体で4億2,802万円の増額となりました。

## 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律は、地方公共団体の財政の健全性に関する比率の公表の制度を設け、当該比率に応じて健全化のための計画策定や行財政上の措置が講ぜられることを目的に制定されたものです。この法律の規定により、美里町の令和3年度の決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果についてお知らせします。

### 1 健全化判断比率

区 分	令和2年度	令和3年度	前年度対増減	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	－	－	13.93%	20.0%
連結実質赤字比率	－	－	－	18.93%	30.0%
実質公債費比率	7.5%	6.7%	△0.8	25.0%	35.0%
将来負担比率	26.5%	14.1%	△12.4	350.0%	－

#### ◇実質赤字比率

一般会計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

#### ◇連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の合計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

#### ◇実質公債費比率

町がその年度に返済すべき公債費等の金額が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。本町は年々減少傾向にあります(25%超で黄信号、35%超で赤信号)。

#### ◇将来負担比率

町が将来にわたって抱える負担すべき金額(町債の借入れやリース契約などで支払いが確定している金額)が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です(350%超で赤信号)。

### 2 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する割合です。公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいえます。

本町の水道事業会計、病院事業会計及び下水道事業会計すべてにおいて資金不足額はありません。

## 都市計画法等の使い道 (令和3年度歳入 都市計画法等 9,598万円)

町では、公園や街路、下水道など、都市計画事業に使用する目的で都市計画法税を徴収しています。令和3年度は9,527万円を徴収し、都市計画事業2億1,129万円の財源の一部として使用しました。不足分は一般財源を充当しています。

都市計画事業	決算額
下水道事業会計への補助金 (これまで整備した公共下水道整備事業に係る企業債償還金)	1億7,799万円
これまで整備した都市計画事業に係る町債償還金	3,330万円
合 計	2億1,129万円